

研究部会 活動報告書（2024年度）

研究部会の名称

環境学習施設研究部会

研究部会の活動目的

本研究部会では、地域や地球規模の環境問題に自主的に取り組む人々の育成や支援の方法を研究し、全国のごみ処理施設等に附設されている環境学習施設等を核としてとりくみます。

具体的には下記のような研究活動を予定しています。

- ・ 環境学習施設の設置や運営ノウハウに関する研究（一ガイドブック制作）
- ・ 施設独自のリソースの相互補完や啓発プログラムの共同開発と共有
- ・ 全国規模の環境学習施設（＝環境教育・啓発施設）ネットワークの構築、万博プロジェクトへの参画等
- ・ 交流する機会の企画、及び情報交流のための事業（例：日帰り研究検討会、年会フォーラム、秋の視察研修会等）

研究部会の設置期間 年のうち、今年度は 年目

当該年度の活動実績

活動実績を冊子体などにまとめている場合は、それを提出してください。
そうでない場合は、以下に活動実績を記述してください。

- ① 年次研究発表会における企画セッション設定の有無 ☒ 有 ☐ 無 ←どちらかに○
（「有」の場合 ⇒ 企画セッション名とその概要と総括）

● 年次研究発表会における企画セッションの計画・概要（第35回研究発表会）
つくば国際会議場(2024年9月9日(月)～10日(火)フォーラム&企画展示
テーマ「集客性のあるリユース実践プログラム」

☆ セッションの概要と総括：

第9回目の環境学習フォーラムを、「集客性のあるリユース実践プログラム」をテーマに、9月10日（火）10:45～12:15、第6会場（小会議室404）において開催した。会場20名、オンライン8名の合計28名が参加された。

1. 開催挨拶

司会 花嶋温子代表(大阪産業大学)

2. 基調講演

「おもちゃのリユース催事“かえっこ”誕生秘話」

現代美術家 藤 浩志 氏

かえっこ事務局 藤 容子 氏

※記録映像 https://fb.watch/uDA_ATxi7M/

3. 実践紹介

「リサイクルマーケットについて」つくばリサイクルを推進する会
秋元靖史 氏

※記録映像 <https://fb.watch/uDB1rTsUId/>

「かえっこバザールや最近の活動について」
認定NPO法人「水戸こどもの劇場」
代表理事 平野弥生 氏

※記録映像 <https://fb.watch/uDB2TySXUG/>

☆ 環境学習企画展示

第9回目となる企画展示を、フォーラムと連動した「集客性のあるリユース実践プログラム」をテーマに、9月9日(月)～10日(火)、つくば国際会議場(多目的ホール)で開催した。入場者数は、9日245名、10日128名のべ373名であった。

【出展協力】

かえっこ事務局、つくばリサイクルを推進する会、認定NPO法人水戸こどもの劇場、札幌市リサイクルプラザ(NPO法人環境リ・ふれんず)、多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター(エコにこセンター)、NPO法人エコライフはままつ、京都市 南部クリーンセンター環境学習施設 運営コンソーシアム、国崎クリーンセンター啓発施設(ゆめほたる)、枚方市東部清掃工場、エコ・エデュテイメントパークくるくるシティ松田商店、バイオマス資源化センターみとよ株式会社エコマスター、日報ビジネス株式会社、株式会社朝倉書店

② 研究部会独自の活動について

1. 視察研修会等

☆春の研究討論会

「施設(工場)見学事例紹介」をテーマに、5月30日(木)13時よりハイブリッドでセミナーを開催し、出演者等を含め62名(会場参加22名、Zoom参加38名)の参加をいただいた。

開催プログラム

1. 挨拶 本研究部会 花嶋温子代表
2. 基調講演
枚方市環境部東部資源循環センター 早田佳孝氏
エコ・エデュテイメントパークくるくるシティ 松田商店 松田多永氏
バイオマス資源化センターみとよ株式会社エコマスター 鎌倉秀行氏
多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター (エコにこセンター) 江尻京子氏
3. 環境学習施設ハンドブック 出版予定 本研究部会 山口茂子幹事
4. 2024年度事業案内等 本研究部会事務局

※映像記録一覧(学会の本研究部会HP)

<https://jsmcwm.or.jp/educational-facility/2024/06/04/2024haru/>

☆秋の視察研修会2024（10月29～30日）

2024年度は、環境省の令和元年度「環境教育体験活動優良事例」で紹介された「えこはま」浜松市西部清掃工場環境啓発施設、そして、4月から本格稼働した天竜エコテラス（浜松市新清掃工場及び新破碎処理センター）を視察した。いずれも、地域における多面的価値創出へむけて、サステナブルな新事業に取り組んでいる。施設の多面的価値づくりを学ぶ有意義な視察であった。最後に、富士エコサイクルを視察し、本研修会を無事終了した。

参加者は、のべ27名。内訳は全日参加×23名、1日目のみ参加×2名、2日目のみ参加×2名であった。

【初 日】10月29日(火曜日)

午後1時頃 浜松駅 集合 バス出発 (バス移動約30分)

午後1時半～午後3時半頃(2時間ほど視察・研修)

「えこはま」浜松市西部清掃工場環境啓発施設（バス移動約30分）

午後4時半～午後6時(研修会)

【研修会場】クラウンパレス浜松

午後6時半頃～ 意見交換会

【2日目】10月30日(水曜日)

午前8時半 クラウンパレス浜松 出発 (バス移動約60分)

午前9時半～11時半(2時間ほど視察・研修)

天童エコテラス（浜松市新清掃工場及び新破砕処理センター）（バス移動約30分）

正午～ 昼食休憩約1時間

浜名湖グルメパーク(バス移動約30分)

午後1時半～午後3時頃 富士エコサイクル（バス移動約60分）

午後4時頃 浜松駅 バス到着 解散

☆日帰り視察研修会2024（12月9日）

2024年度の日帰り視察研修会は、「他事例（防災学習施設）に学ぶ」をテーマに、日帰り視察研修会を開催した。視察先は、“見て、聞いて、触って”楽しく学び、災害への備えの大切さを心に刻む「津波・高潮ステーション」、そして体験型の防災学習施設「大阪市立阿倍野防災センター あべのタスカル」の2施設で、いま注目の防災学習に関する展示構成や運営内容について学んだ。参加者は、申込者数23名（当日22名参加）であった。

視察の概要 12月9日（月曜日）

12:30 大阪梅田駅前 集合・出発（バス移動）

13:00 津波・高潮ステーション（バス移動）

15:30 あべのタスカル（バス移動）

17:15 大阪梅田駅前 解散

（18時頃～ 意見交換会：有志）

2. ガイドブック制作事業（年間）

幹事会とは別に作業部会を設け、不定期に会議を開催し、制作事業を進めている。「月刊廃棄物」に2022年1月号から隔月で、本研究部会のガイドブック事業に資する施設紹介や事業内容に関する連載記事を掲載している。